

# 第87回研修会 新聞掲載記事

2月17日(火)の北海道新聞・2月20日(金)の釧路新聞に  
北海道・標津研修会の活動が掲載されました！

北海道新聞(夕刊)

第3種郵便物認可

## 標津の冬スノーシューで満喫

【標津】アジアの留学生16人が町内の民宿や一般家庭に宿泊しながら、スキーなど冬ならではの体験を町内や近郊で満喫した。

留学生を支援する共立国際交流奨学財団(東京)の主催で、町の体験観光の窓口、町エコツーリズム交流推進協議会が11～16日に受け入れた。

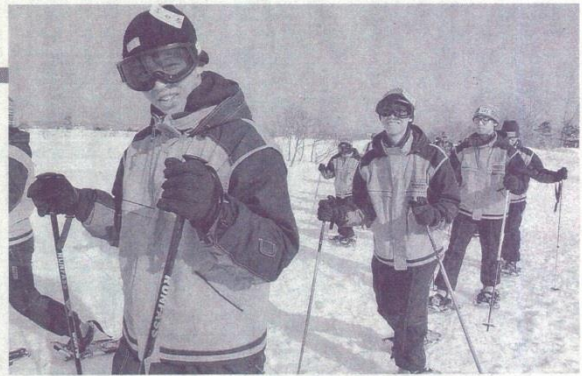
標津での冬の受け入れは4年連続で、今回は東京都内の大学

アジアの留学生が民泊

や日本語学校に通う中国、韓国、マレーシアなどの学生が来町。郷土料理作りや観光船に乗船したほか、12日には町ポー川史跡自然公園の雪原をストックを手にスノーシューで散策した。

中国広東省から都内の日本語学校に通う李子栄さん(20)は「スノーシューで歩いていると、暖かくなりました」と流ちょうな日本語で話していた。

(伊藤美穂)



スノーシューで散策する留学生

釧路 夕刊 第1版

平成27年(2015年)2月20日(金曜日)

## スキー楽しい 標津の冬満喫

### 留学生、民泊で交流も

【標津】首都圏の大学や日本語学校に通う留学生らが11～16日の6日間、同町を訪れ、さまざまな体験を通して、日本の文化や道東ならではの冬の満喫した。

留学生支援や国際交流促進を図る共立国際交流奨学財団(東京都)が主催する研修旅行で、標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会による受け入れは、今年で4年目。夏と冬の年2回実施されており、今回は、アジア圏を中心とする留学生や、九州の大学に通う日本人学生を含む16人が参加した。

留学生らは11日の午後来町。ポー川史跡自然公園で雪に覆われた温泉をスノーシューハイイクしたり、標津サーモン科学館の見学をした。



たほか、町内でのホームステイで町民と交流を深めた。14日に町営金山スキー場で行われたスキー体験では、あいにくの風雪に見舞われながらも、普段味わえない雪の感触を楽しんだ。マレーシア出身で、共立財団日本語学院(東京都)に通うチューマンワイさん(24)は「スノーシューで体験した真っ白な世界に感動し、ホームステイでは家

金山スキー場で雪の感触を楽しんだ留学生ら(標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会提供)

族のように接してもらった。京都や大阪にも行ったが、国内でも文化が違っていた。

(原田未央)